

地域自然情報ネットワーク 第 22 期事業計画

2024 年 7 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日まで

- ・ **1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業**
 - 生物多様性の評価等、自然環境の調査解析に関わる基礎的調査、研究を継続する。
 - 環境省植生図利活用情報収集・

環境省植生図の利活用情報を収集・整理する。特に行政施策等に資する研究事例、活用事例について、文献収集や HP 検索により情報を収集するとともに、自治体や民間へのヒアリングを通じて利活用事例を収集する(アジア航測株式会社より受注)。

- ・ **2. 自然環境情報の整備・公開事業**
 - 自然環境情報の整備に関わる事業に参画する。
 - ・ 街路樹調査のデータ作成および整備の企画・開発・検証に携わる。
 - ・ 生物情報の整備・保存への提言を継続する。
 - ・ 自然環境情報・生物情報の GIS データ化および空間解析等を行う。
 - 国立科学博物館自然教育園の樹林データベースの整備と活用、

生物情報整備を継続する。
 - 自然公園のインタープリテーション全体計画検討に資する資源情報を収集整理。
 - ・ 賛助会員企業等と協力して進める。

- ・ **3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業**
 - 東京環境工科学園での人材育成

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野への GIS 基本講座を選択授業のひとつとして行う。導入編は GIS の基礎的な知識と利用を習得する。さらに、受講生の中からさらなるスキルアップをめざす学生を対象に応用編の集中講義を行う。これまでに蓄積された教材の活用と再編を行う。
 - 社会人自然環境 GIS 講座

社会人を対象に GIS 講座開催、GIS による解析・応用技術の普及とそのための人材育成を図る。要請に応じて随時開催する。
 - ESRI ユーザー会議、コミュニティフォーラム等への参加を行う。

ESRI ユーザーカンファレンス(米国)、ESRI ジャパンのコミュニティフォーラムにおいてブース出展、生物多様性セッションにおける話題提供等を行う。
 - 地域自然情報研究会・ジオエコツアーの開催

研究会の開催により、情報提供・情報交換・人材育成に努める。なお、Zoom などの

Web を併用して開催する。演題・講師の推薦（自・他）を募集中

・ 4. 自然環境保全にかかわる活動支援事業

● 生態系の十全性(ポテンシャル)評価に関わる資料作成業務

民間企業の生物多様性保全に係る取組支援の一環として、生態系の十全性(ポテンシャル)評価を賛助会員企業等と協力して進める。

● 国立公園管理有効性評価に係る資料整理

環境省国立公園課がすすめる国立公園管理有効性評価のためのデータベース作成のための資料整理、確認等補助事業を賛助会員企業と協力して進める。

● 30by30 アライアンス

アライアンスメンバーとして継続して活動するとともに、企業の OECM や自然共生サイトに係る活動支援を行う。

● 環境教育活動への参画・協力

自治体や民間での企画への協力を行う。

● 野生生物と社会学会への協力

継続して野生生物と社会学会 行政研究部会の事務局を置く。

● NPO 法人野生生物調査協会

協力関係を継続する。

● 博物館の展示等への協力

国立科学博物館附属自然教育園において、展示について企画、展示物作成などで協力する。

● 阿蘇草原再生協議会

引き続き協議会本会への参画、草原環境学習小委員会へ参画する。

● 上サロベツ自然再生事業

引き続き協議会本会、再生技術部会へ参画する。

● 市貝浮島プロジェクト

日本技術士会栃木県支部に協力して、継続的なモニタリング、広報活動等を行う。

・ 5. その他の事業

● メーリングリスト・ホームページの維持管理

- ・ ホームページ等による広報を行う。
- ・ 広報を会員への情報提供の重要な手段と考え、その改善につとめる。
- ・ メーリングリストの管理を行い、メーリングリストは入退会に応じて随時管理する。